

株式会社大谷屋たたみ店

■事業

高度化した精度の高い畳の短期間での製造実現を図り、
販路拡大・直販部門強化を図る

■対象類型

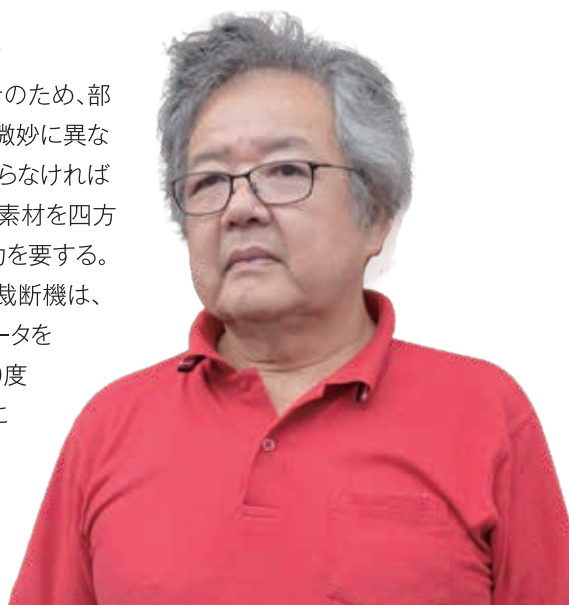
革新的サービス

■導入機械装置

両框(かまち)裁断機チップソーⅢWIN

住宅の洋風化で大幅減の畳需要
素材、形の多様化に機械化で対応

【経営理念】

環境にやさしく、優れた機能・効用のある畳を生活に取り入れ、より快適な生活を送ってもらうため
の手助けをしていく1904(明治37)年に創業して以来、1世紀半近くにわたって畳製造販売を営む大谷屋たたみ店。田淵
寿馬代表取締役が家業を手伝うようになった1975(昭和50)年ごろから、畳の素材は重い藁(わら)床か
ら、発泡プラスチック系の断熱材を藁と組み合わせた畳へ、さらに木質チップをボード状に固めて藁の代
わりに使う建畳と軽量化が進み、それに伴って機械化を推進。2009(平成21)年に法人化し、跡を継ぐ
と、一層推し進めてきた。近年は住宅の洋風化で、戸建てをはじめ、賃貸住宅や分譲マンションを含め、和室の数が減り、畳の
マーケットは著しく縮小している。そうした中であって、畳の表素材は従来のイ草だけでなく、和紙をイ草
の代わりに使ってカビなどを防ぐ畳や、ファッション性の高いデニム素材なども登場。さらにバリアフリー
化もあり、厚さ55〜60ミリの一般的な畳ではなく、15ミりと4分の1ほどの厚さの半畳の縁なし畳が、モダン
で、和室のイメージを一新することから急速に需要が増えてきている。フローリングと同じ厚さで、内装工
事をしやすい利点もある。畳が多様化する中であって、販路を拡大するには、精度の高い製品をより短期間に製造することが求
められている。1ミリの単位で異なる畳の大きさ
パソコン入力で正確な裁断を実現畳は、部屋に隙間なく敷き詰めなくてはならない。そのため、部
屋の広さによって畳の大きさは一枚一枚、1ミリの単位で微妙に異な
る。以前はメジャーを使って切断していたが、四方を切らなければ
ならない半畳の縁なし畳は時間がかかるうえに、表の素材を四方
の裏側に折らなければならない工程も加わるため、労力を要する。2017(平成29)年度に補助事業で導入した両框裁断機は、
部屋の大きさなどの図面をパソコンに入力し、そのデータを
裁断機に送ると、自動的にまず左右を切断し、畳を90度
回転させて次は上下と、4辺を裁断してくれる。裁断に
かかる時間は従来の3分の1に短縮することができ
た。これにより工務店やハウスメーカー、さらには一
般顧客などからの受注に素早く対応できるようにな
った。

田淵寿馬 代表取締役

1 導入した両框裁断機チップソーⅢWIN
2 自動反転式平利し返し縫い機
3 框縫い機営業活動拡充で販路、直販の拡大目指す
顧客に喜んでもらえる敏速丁寧な仕事を大谷屋たたみ店は1975(昭和50)年ごろから障子やふすまの張り
替え、クロス張り、オーダーカーテンなどといった内装工事関係を
展開している。それまでは畳だけだったが、事業の多角化を目指して
いる。今回の両框裁断機導入によって、営業活動の時間を増やすこ
とが可能になった。工務店やハウスメーカーの下請けはもちろん、一
般顧客からの受注拡大は経営の安定化につながる。取引先は地元
安来市をはじめ、松江、米子両市、鳥取県南部、日南両町内にあり、
以前畳を納入した顧客を訪ね、住宅環境関連の相談に応じて販路
拡大や直販部門の強化を図っている。田淵代表取締役は「敏速かつ
丁寧な仕事で顧客に喜んでもらえるよう努めていきたい」と意気込
んでいる。

■Company Data

株式会社大谷屋たたみ店



縁なし畳の玄関

代表者名：田淵寿馬
設立年：2009(平成21)年
資本金：3,000千円
従業員数：2名
主たる業種：畳製造販売業
本社：〒692-0211 安来市伯太町母里79
電話：0854-37-1379
FAX：0854-37-1368
URL：https://ootaniya.com/